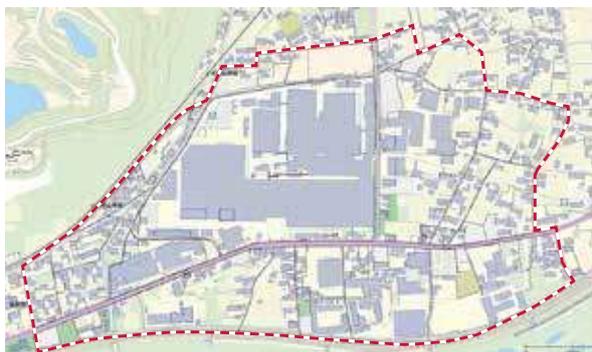


森林・環境税を活用してアルゼンチンアリの防除を実施しています!

平成24年10月、酒倉地区において南米原産のアルゼンチンアリが確認されてから、薬剤による一斉防除を防除計画区域にて実施しています。アルゼンチンアリは、屋内に侵入して日常生活に支障をきたすなど不快害虫として地域住民に被害を及ぼすとともに、在来のアリ類などを駆逐してしまうなど生態系や農作物にも影響を及ぼすため「特定外来生物」に指定されています。

町では、分布拡大防止のため、対象地域の方々や岐阜県などと連携しつつ平成25年度から防除を実施してきました。現在、アルゼンチンアリは減少し、在来アリが確認されるなど生態系が回復している地点もありますが、生息域はわずかに広がりを見せ、高密度に生息している地点もあります。

アルゼンチンアリの根絶に向けて今後も調査・研究および防除に努めて参りますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。



《令和元年度防除計画区域(点線内)》



《砂糖水を染み込ませた脱脂綿に集まるアルゼンチンアリ》
※モニタリング調査より

みのかも定住自立圏事業

生物多様性講演会「生物多様性異変? 変わりゆく自然と増え続ける外来生物」

【日時】 2月22日(土) 午後1時~4時(予定) ※開場 正午

【場所】 中央公民館 ホール(坂祝町黒岩1260番地1)

【講師】 こか こういち 五箇 公一 氏(国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生態リスク評価対策研究所室長)

【対象】 どなたでも **【定員】** 300人(先着順) **【申込】** 不要

【内容】

美濃加茂市と加茂郡の8市町村は、平成27年度から3年間、合同で自然環境基礎調査を行い、その結果を書籍「守りたい加茂の豊かな自然」にまとめ、その調査報告会を行います。

また、テレビでお馴染みの専門家である五箇氏をお招きし、町内で確認されている特定外来生物であるアルゼンチンアリや、変わりゆく自然と増え続ける外来生物についてお話しいただきます。

参加料
無料



■ 五箇 公一 氏 プロフィール

1990年に京都大学大学院昆虫学専攻修士課程修了。同年、宇部興産株式会社農業研究部入社。1996年に京都大学博士号(論文博士)取得(農学)。同年、国立環境研究所入所、現在に至る。専門は保全生態学、農薬化学。主な著書に「クワガタムシが語る生物多様性(集英社)」、「終わりになき侵略者との闘い~増え続ける外来生物~(小学館)」など。テレビや新聞などマスコミを通じて生物多様性・生態リスクの啓蒙にもつとめる。

問い合わせ先 水道環境課 ☎66-2407 (直通)